

補助金の見直し状況について

平成25年度

平成26年度 各種補助金の取り扱いについて（通知） 【平成25年8月6日】
 ※通知に基づき、平成26年度予算で各種補助金は交付先ごとに20%削減。
 （20%削減の根拠は、団体が事業を継続できることを前提）

- ・本来、委託料として支出すべきものは見直すこと。
- ・団体運営補助金は、段階的に可能な限り、事業補助金へ切り替えること。

※削減対象外 ①：補助開始後、3年を経過しないもの
 ②：別に協定、契約を締結して期限を設定して補助を行っているもの
 ③：国、県、他の自治体などと合わせて補助をしているもの

補助金額が500万円以上の団体は、ヒアリングを実施



平成26年度 各種補助金の削減対象一覧について（通知） 【平成25年9月27日】

- ・通知内容に基づき、交付先ごとに予算要求をするように見直しを進める

平成26年度 予算要求
 （※状況に応じて、所管課と補助金額の調整及び市長面談あり）

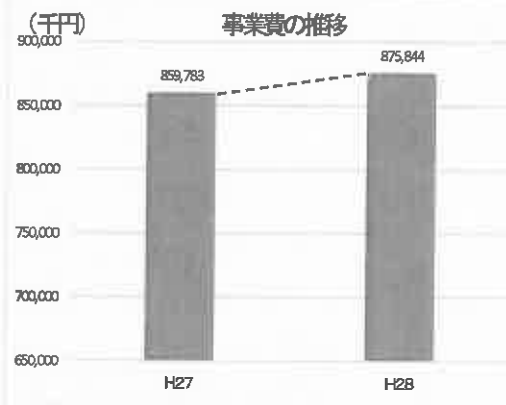


平成26年度 各種補助金に関する効果額 【H26. 2. 21 行革委員会資料抜粋】
 ※見直しを行った26年度の補助金について効果額検証
 H25予算（当初+補正）：1,189,541千円
 H26予算（内示額）： 916,198千円 ⇒ -23.0%



平成27年度～ 補助金・交付金の状況【当初予算ベース】

	H27	H28
事業数	342	351
事業費	859,783千円	875,844千円
うち少額補助金 （10万円以下）	60	71
うち事業費	2,601千円	3,683千円



各種補助金の見直しに対する考え方 【H27. 9. 11 桑名市議会 市長答弁より】

- ・20%の一律カットは抜本的な見直しではないため、今度見直す際には一本一本見直していきたい。
- ・補助金の見直しを抜本的にゼロベースでさせていただき、しっかりと財政改革に取り組んでいく。



平成28年度～

現行の補助金の状況把握と共通課題を整理し、定期的に見直しを行う仕組みを確立する。

補助金の見直し方針（案）

ねらい・・・

補助金は、行政目的を効果的・効率的に達成する間接的手段として、一定の成果を上げてきました。しかし、厳しい財政状況のなかで特定の事業や活動を助成するために支出する補助金は、有効に活用する必要があります。

本市では、これまでも補助金の見直しに取り組んできましたが、今後もすべての補助金に対して公平性・透明性を保ちつつ、適正な交付・運用ができるように、定期的に見直しを行う仕組みを確立します。

補助の総額・・・

市が交付する補助金は、交付金は、平成28年度一般会計当初予算において、351事業、8億7,584万3,845円を予算計上しており、総額517億9,279万円の約1.69%を占めています。 【※ 事務局調べ】

補助調査の実施・・・

補助金の内容はさまざまであるため、現行の補助金の状況把握と共通課題を整理し、方針（案）を作成しました。

《補助金の見直し方針（案） ～補助金制度の課題解決に向けて～》

補助金とは・・・

- ・特定の事業、研究等を育成するために市が、公益上必要があると認めた場合に支出するもの 【地方自治法 第232条2】

補助金の本来の在り方を再検討

- ・個別に対して、定期的に見直す必要がある
- ・各団体の自立・自主運営をさらに促していきたい

補助金本来の考え方に基づき、その在り方をゼロベースで見直していく

補助金見直しの視点を持ち、分類分けをして補助制度の方向性を再構築

見直し①：事業費補助の原則

⇒団体の自主性・自立を促す

見直し②：終期の設定

⇒補助の実効性を高め、既得権化を防ぐ

見直し③：すべての補助金に交付要綱を制定

⇒補助金を交付する場合は必ず制定する

見直し④：少額補助金の廃止

⇒自主財源での運営について検討する

見直し⑤：補助対象経費、算定基準の明確化

⇒補助金の公平性・透明性を高める

【 議 題 】

公平性、公正性、透明性等を確保し、適正（補助の必要性・費用対効果等）に補助金を支出するため、「①：補助金見直しの方向性は正しいか」、「②：市が補助事業を見直すための意識改革はどうすれば良いか」について、意見をいただきたい。